

表紙物語

11月21日、農林水産省の若手職員2名がJA相馬村を訪れ、フルーツステーションなどの施設見学と青年部との意見交換を行った。

農林水産省では、地域農業の実態の理解促進を目的に、55年前から研修に取り組んできた。2名は、農泊施設のある市内のりんご農家にて作業に従事し、19日間の研修の締めくくりとして当JAを訪れ、振興課齊藤指導員の案内のもとと集荷や選果へ理解を深めた。

青年部との意見交換では、今後、農地を手放す方も増えてくる中で、農地を拡大するかという質問に「労働力次第だが、現状のままであれば拡大せず、今ある面積で収量増を目指すことで安定経営に繋げたい」と話す部員が多かった。

同省職員は「収穫作業でハシゴから落ちそうになり、農作業の危険性について改めて認識した。実際に農家さんと交流できたのは今回が初めての機会なので、現場の声を聴けて大変参考になり、視野も広がった。今後の業務に活かしていきたい」と充実した研修を締めくくった。



青年部との意見交換で、実態に沿った話を聞く



海外出荷事情や青い段ボールについて理解を深める



「おいしい」とほころんだ表情



蜜入りの飛馬ふじに感動！

JA相馬村広報

りんごの森

2022.12 Vol.485

■ 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■ 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■ 発行日
2022年12月15日

JA 相馬村概況

〈令和4年11月末日現在〉

組合員数	854 人
(うち准組合員数)	373 人
出 資 金	607,675 千円
貯 金 額	10,674,129 千円
共済保有高	3,081,503 万円